



# 豊富な湯の恵みに感謝

## 第42回登別温泉湯まつり

2/  
3・4

2月3日(日)と4日(月)の2日間、登別温泉で『第42回登別温泉湯まつり』(市、登別観光協会主催)が行われました。

この催しは、登別温泉の豊富な湯量と多彩な泉質に感謝し、湯が尽きることが無いよう、また、開運と無病息災を祈願するまつりとして、節分に合わせて毎年開催されています。

湯の守り神である赤鬼と青鬼の『湯鬼神』が『湯鬼神かぐら』を披露して厄払いをしながら、登別温泉やカルルス温泉の旅館やホテル、飲食店などを回って市民や観光客などを喜ばせました。

4日夜には、まつりのメインイベントである『源泉湯かけ合戦』が厳寒の中、源泉公園で行われ、見物に集まった約700人の市民や観光客が注目する中、紅白に分かれた約140人の下帯姿の男性とさらし姿の女性が豪快に湯をかけ合い、会場が熱気の渦に包まれました。



▲『豆つかみ』30秒で何個つかめたかな

# 楽しく学んで いただきます

## 第3回登別市学校給食展

1月22日(火)〜25日(金)、市民会館で『第3回登別市学校給食展』(市主催)が開催され、学校給食に関する絵画と標語の作品展や学校給食の試食、栄養教諭によるプチ食育相談などが行われました。

試食には、『登別牛』を使ったすきやきとポテトサラダ、登別の牛乳が提供され、参加者は地元食材を堪能。今年から行われた給食展スタンプリーでは、一日に必要な野菜摂取量350gを当てる『野菜計量』や箸を使った『豆つかみ』などが企画され、楽しみながら食育や学校給食への理解を深めました。

1/22  
~25